

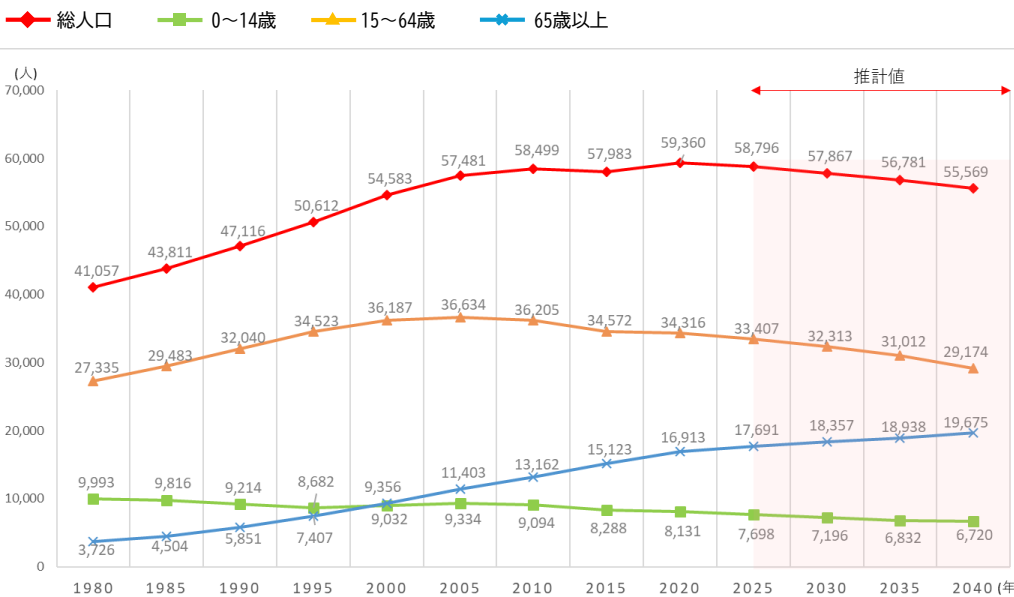
小郡市人口ビジョン（令和7年改訂版）

基本的な考え方

小郡市人口ビジョンでは、地方創生の実現に向けて、小郡市の人口の現状を分析するとともに、目指すべき将来の方向性と将来人口の展望を示します。

今般、本ビジョン策定以降の状況変化等も踏まえて、小郡市人口ビジョンを改訂しました。

人口の推移と社人研^(※)による将来人口推計（年齢3区分別）



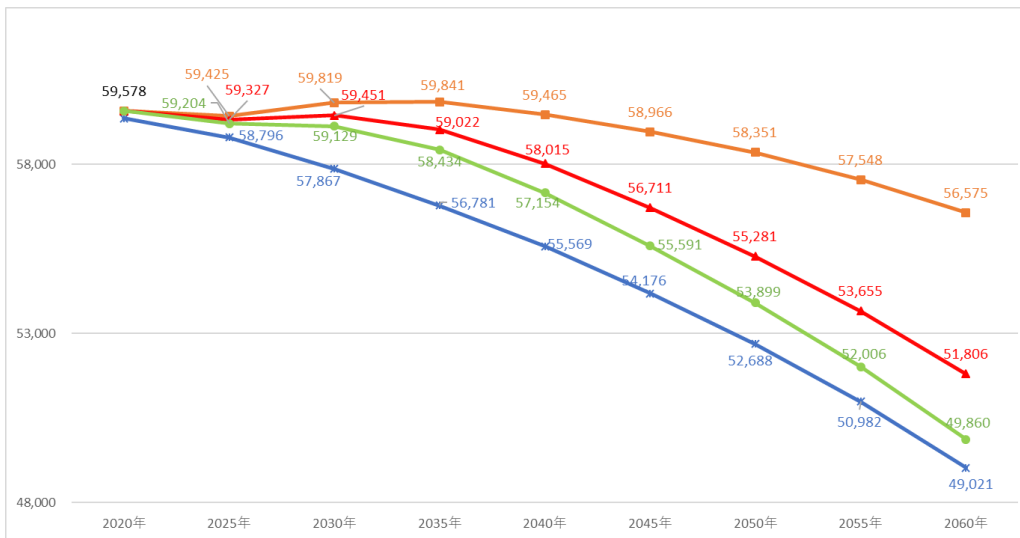
※社人研とは、国の機関で「国立社会保障・人口問題研究所」のことです。

社人研推計

- ・市の人口は、2020年をピークに年々減少します。
- ・年少人口は、2040年に1980年の7割まで減少します。
- ・老年人口は、2000年に年少人口を上回り、高齢化が急速に進行します。

小郡市独自の将来人口推計

- パターン1（社人研：移動率推移、出生率推移）
- パターン4（市独自：移動率推移、転入増加、出生率2.07まで上昇）
- パターン6（市独自：移動率推移、転入増加、出生率は社人研と同じ）
- パターン7（市独自：移動率推移、転入増加、出生率1.35を推移）



※パターン2、3、5は、これまでの人口ビジョンにおいて、当時の条件に準拠したもので、今回の条件設定では採用を見送っています。

小郡市推計

社人研推計のパターン1をベースに、小郡市独自推計のパターン4、6、7では、

- ・移動率の維持
- ・住宅開発による転入者の増加
- ・合計特殊出生率を段階的に2.07へ上昇
- ・合計特殊出生率1.35を推移の条件を設定します。

本市では、
2040年に約59,500～57,000人
2060年に約56,500～50,000人の
人口を展望します。

小郡市新しい地方創生総合戦略

基本的な考え方

これまで、小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略で進めてきた地方創生の取組をデジタルの力を活用して継承・発展するために、本市の強みや特長を生かした地方創生の施策を戦略としてとりまとめた「小郡市新しい地方創生総合戦略」（以下「新・総合戦略」という。）を策定します。

計画期間

令和7年度から令和11年度まで

新・総合戦略とSDGsの一体的な推進

新・総合戦略と、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という方向性は一致していることから、少子高齢化の進展に対応し、持続可能なまちづくりを実現していくために、新・総合戦略とSDGsを一体的に推進していきます。



基本目標

01 地方における安定した雇用を創出する

02 小郡市への新しい人の流れをつくる

03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

04 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R11）
(1)企業誘致による雇用の確保 ① 企業誘致の推進	・ 民間開発による企業立地の支援件数（H28～）	11件	20件
(2)市内商業の活性化 ① 商業経営の育成 ② 創業者の創出 ③ 魅力ある商業環境の整備及び商業活性化事業の支援	・ 創業者数（H27～）	146人	287人
(3)「農業」の強化 ① 多様な担い手の育成・確保 ② 農村環境の整備推進 ③ 環境に配慮した農業生産の推進 ④ 収益性が高く安定的な農業経営の確立と地域農業の維持確保 ⑤ 地産地消の推進 ⑥ 産地銘柄の確立（ブランド化）と6次産業化の促進	・ 農業後継者を含む新規就農者数（H27～）	28人	46人
	・ 認定農業者におけるスマート農業機械設備等の導入割合（R4～）	4.7%	23%

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R11）
(1)定住・関係人口の創出・拡大 ① 市の魅力発信強化 ② ふるさと納税の推進 ③ 民間資金の活用 ④ 空き家の利活用	・ SNSのフォロワー数	9,336人	16,500人
	・ ふるさと納税寄附リピーター者数	26,317人	33,800人
	・ 企業版ふるさと納税件数（R2～）	45件	244件（～R9）
	・ 空き家バンク登録物件数（H30～）	6件	12件
(2)地域の特色を生かした観光振興 ① 観光イベントの開催及び情報発信力の強化 ② 観光地域づくりの推進	・ 年間観光入込調査人数	747,000人	825,000人
(3)安心して暮らせる住まいの整備 ① 民間住宅開発の推進 ② 居住環境の向上	・ 公共下水道普及率（=処理人口／行政区内人口）	95.6%	100%（R9）
	・ 住居系地区計画及び都市計画法第34条第11・12号区域指定面積（H18～）	654.3ha	752.5ha
(4)文化・スポーツ振興による交流人口の増加 ① スポーツ・レクリエーション活動の充実 ② スポーツ環境の整備・充実 ③ 文化財の保護・活用 ④ 読書環境の整備・充実 ⑤ 生涯学習活動の推進と芸術文化の普及・振興	・ 小郡運動公園及び小郡市体育館年間利用者数	191,136人	230,000人
	・ 図書館広域利用有効登録者数	1,204人	1,270人

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R11）
(1)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制づくり ① 医療体制の拡充 ② 妊産婦・乳幼児の支援体制の充実	・小郡市で今後も子育てをしていきたいと回答した割合	61.0%	95.3%
(2)子育てしやすい環境の整備 ① 保育環境の充実 ② 子育て支援事業の充実 ③ 児童の健全育成 ④ 仕事と子育ての両立支援	・定員超の児童受入れの是正	111%	100%
(3)子ども一人一人にきめ細やかな教育 ① 学校教育・幼児教育の充実と教育の保障 ② 家庭、地域、学校との連携 ③ 教育環境の整備・充実	・「タブレットを活用して自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」項目の平均割合（①小学校②中学校）	①80.3% ②71.6%	①85.0% ②75.0%
	・「タブレットを活用して友達と協力しながら学習を進めることができる」項目の平均割合（①小学校②中学校）	①79.3% ②84.6%	①85.0% ②85.0%

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R11）
(1)多様な主体が認められ、自分らしく関われる地域づくり ① 地域に関わる多様な主体への支援 ② 多世代交流、多文化共生の推進	・まちづくり関連講座の開催回数（R5～）	3回	21回
	・外国人の「おごおり日本語教室」への参加割合	13%	32%
(2)時代に合った地域づくり ① 公共交通の整備 ② コンパクトシティの推進 ③ 防災・減災の取組強化 ④ 資源循環型社会の推進	・のりーと小郡・おごおり相乗りタクシー登録者数（R4～）	2,852人	4,584人
	・自主防災組織災害時初動マニュアル作成状況（R4～）	23区	47区
	・一般廃棄物の市民1人・1日当たり排出量	804g/人・日	799g/人・日
(3)誰もが元気で安心して暮らせるまちづくり ① 地域医療体制の充実 ② 健康づくりの推進 ③ 高齢者福祉の推進 ④ 地域福祉の推進	・がん検診平均受診率	7.8%	8.4%
	・認知症サポーター養成講座の受講者数	9,806人	14,600人
(4)自治体DX・官民連携 ① 自治体DXの推進 ② 官民連携の推進	・オンライン申請が可能な手続数の割合	61.7%	100%
	・窓口利用者満足度（利用件数に対する不満の割合）	1.57%	1%以下
(5)周辺自治体との連携 ① 久留米広域連携中枢都市圏推進協議会 ② 久留米広域市町村圏事務組合 ③ 筑後川流域クロスロード協議会 ④ グランドクロス広域連携協議会	・連携中枢都市圏の活用事業数（第2期ビジョン：R4～）	36事業	39事業